

2024年度前期「企画に対する学生評価」

実習企画(または演習企画)に対する学生評価

| | |
|-----------|--|
| あなた自身について | 問1 事前に配布された資料を読むなど予習をしましたか。 問2 実習(演習)に積極的に参加しましたか。 |
| 実習(演習)計画 | 問3 実習(演習)の目的は履修要項やガイダンスで理解できましたか。 問4 実習(演習)はおおむねスケジュールに沿って行われましたか。 問5 学生数に対して指導担当者数は適切でしたか。 問6 指導担当者は適切な指導能力を備えていましたか。 |
| 実習(演習)内容 | 問7 実習(演習)の内容は、関連する講義科目の内容と対応がとれていましたか。 問8 事前に配布された資料は、実習(演習)を進める上で役立ちましたか。 問9 実習(演習)によって技術を十分に習得することができましたか。 問10 実習(演習)内容の難易度は適切でしたか。 問11 課された提出物(レポートなど)の量や内容は適切でしたか。 |
| 実習(演習)環境 | 問12 実習(演習)用の設備・機材・用具などは性能に問題はありませんでしたか。 問13 実習(演習)用の設備・機材・用具などは量の面で十分でしたか。 問14 安全に対する適切な指導と配慮がなされていましたか。 問15 学生の人権に対する配慮がなされていましたか。 |
| 総合評価 | 問16 この実習(演習)は全体として満足できるものでしたか。 |

- | | |
|-------------|-----------|
| ⑤ 強く思う | (非常に良い) |
| ④ やや思う | (良い) |
| ③ どちらとも言えない | (普通) |
| ② あまりそう思わない | (あまり良くない) |
| ① 全くそう思わない | (良くない) |

科目名：基礎生物学実習

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：95 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.4 | 4.5 | 4.3 | 4.6 | 4.5 | 4.6 | 4.4 | 4.5 | 4.5 | 4.4 | 4.4 | 4.6 | 4.6 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.6 | 4.6 | 4.5 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

基礎生物学実習担当教員

令和6年度の学生からの評価は例年通りであり、実習のクオリティは概ね維持できたのではないかと考えています。なお、評価項目の問11「課された提出物（レポートなど）の量や内容は適切でしたか」はこれまでは最も低い評価で3点台でしたが、今回は（4.4）になりました。本年度の実習では、学生に他の授業科目の学修時間を確保させてあげるため、提出期限付きレポートの出題数を5テーマから3テーマに減らしました。全部なくす方向がよいのかどうか（ただなくすだけでなく、学生のアウトプットをどう引き出すかについては、今後、学生の学修状況を考慮しながら慎重に検討する必要があると感じております。

科目名：医用物理学実習

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：92 回収率：96.8%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.0 | 4.5 | 4.2 | 4.5 | 4.2 | 4.0 | 4.2 | 4.3 | 4.2 | 4.2 | 3.8 | 4.5 | 4.5 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.4 | 4.2 | 4.0 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

医用物理学実習担当教員

総合評価は昨年度と変わらず4.0であった。個別の項目もあまり変わらなかった。医用物理学実習では、学生から提出されるレポートが合格レベルに達するまで教員による添削をしている。近年は提出されるレポート中に添削が必要な個所が著しく増えているために、今年度のガイダンスではレポートの書き方に関する説明を増やした。しかし、問11（レポートの量や内容）の評価は変わらなかったため学生からみた負担感は減っていないと考えられる。来年度に向けて対応を検討したい。

科目名：形態学実習 I

(医学科第 2 学年前期／必修)

履修者数：101 配付数：101 回収数：90 回収率：89.1%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5 | 問 6 | 問 7 | 問 8 | 問 9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.7 | 4.5 | 4.3 | 4.4 | 4.3 | 4.5 | 4.4 | 4.4 | 4.3 | 4.2 | 4.1 | 4.4 | 4.4 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.5 | 4.5 | 4.4 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

形態学実習 I 担当教員

形態学実習 I では、組織学実習(顕微鏡観察とスケッチ：全 16 回)と骨学実習(全 7 回)を行いました。本実習に関し、高評価をいただいておりますが、反省するべき点もいくつかご指摘いただいておりますので、それらの点を改善し、令和 7 年度は、より充実した「形態学実習 I」を展開していければと考えております。

科目名：生化学実習

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：101 配付数：101 回収数：81 回収率：80.2%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.8 | 4.1 | 4.1 | 4.2 | 4.1 | 4.0 | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 3.7 | 3.7 | 4.1 | 4.1 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.2 | 4.3 | 3.9 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

生化学実習担当教員

昨年度から、本格的な対面形式で、教官と学生が対話しながら実験を進めていく本来の「実習」をすることができた。医学1年でも実習を経験し、基本的な実験器具の使い方などスムーズでしたが、実習運用上で、適切な実習指導の不足、実習評価の基準の明確化などの意見をもらい、来年度の実習運用の課題としていきたい。生化学実習は、開学以来、伝統的に「酵素反応」実習を行ってきた。今後の医学・医療で活躍する学生にとって、より有益な技術・考え方を体験してもらうために、来年度から50年ぶりに、「分子生物学」実習に改訂していく予定である。

科目名：薬理学実習

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：98 配付数：98 回収数：77 回収率：78.6%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.3 | 4.6 | 4.4 | 4.4 | 4.3 | 4.4 | 4.4 | 4.5 | 4.3 | 4.2 | 3.7 | 4.4 | 4.4 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.5 | 4.4 | 4.2 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

薬理学実習担当教員

「実習が満足できるものであったか」の評価が4.2であることから、多くの学生に満足してもらえたかと思う。一方、全員の実験データを集めるのが大変だったとのコメントがいくつかあったが、たくさんのデータを集めてまとめることも実習の一つと考えている。そのため本実習では、学生自身で、どうしたら効率よくデータを収集できるか考え、生データを集める方式をとった。提出されたレポートを見ると、エクセルの使い方が不十分で、実験結果を的確に表しているグラフを作成できない学生が多かった。今後は、1年次の情報科学実習を担当されている先生と連携し、得られたデータから説得力のあるグラフ作成ができるように、講義実習内容を改善していきたいと考えている。薬理学の知識は、どの診療科でも必要なもので、今一度復習をして自分の理解に間違いがないか確認し、臨床系の講義・実習に臨んで頂きたい。

科目名：微生物学実習

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：97 回収数：82 回収率：84.5%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.6 | 4.6 | 4.6 | 4.7 | 4.6 | 4.6 | 4.5 | 4.6 | 4.6 | 4.6 | 4.4 | 4.5 | 4.6 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.6 | 4.6 | 4.7 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

微生物学実習担当教員

学生にとって概ね満足のいく実習内容のようです。レポートの提出方法などは今後検討してみます。

科目名：寄生虫学実習

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：98 配付数：98 回収数：96 回収率：98.0%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.9 | 4.4 | 4.1 | 4.4 | 3.6 | 4.3 | 4.4 | 4.1 | 4.0 | 3.9 | 3.8 | 3.9 | 4.0 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.4 | 4.4 | 4.0 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

寄生虫学実習担当教員

実習室の顕微鏡には古いものも多く、標本を観察しにくい人もいたと思います。標本観察をメインとする自習であることから、このことが学習意欲の低下や不満足感につながった可能性があります。そこで、次年度は可能であれば、新たな顕微鏡を数台導入したいと考えています。また、モニターなども有効活用して実習を行う予定です。

科目名：病理学実習

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：98 配付数：82 回収数：76 回収率：92.7%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.4 | 4.1 | 4.1 | 4.4 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.3 | 4.1 | 4.1 | 4.3 | 4.3 | 4.4 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.4 | 4.5 | 4.4 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

病理学実習担当教員

今年度から標本の観察は、顕微鏡観察によるガラススライドとバーチャルスライドを併用して行いました。実習は腫瘍病理と免疫病理で折半で担当しており、実習形態については各講座特色のある形式で行われています。評価はほぼ4点台で目的はほぼ到達されていると考えます。教員からの資料や説明はあくまでも道標に過ぎず、各自教科書を参考にして学び直して欲しいと切に思います。

科目名：衛生・公衆衛生実習

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：113 回収数：57 回収率：50.4%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.6 | 4.2 | 3.6 | 4.0 | 3.8 | 3.9 | 4.0 | 3.6 | 3.7 | 3.9 | 3.1 | 3.9 | 3.4 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.2 | 4.2 | 3.6 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

衛生・公衆衛生実習担当教員

衛生・公衆衛生実習では、疫学的な面を含めた疫学統計解析の実際から、労働安全衛生法に関わる最新の情報である新たな化学物質管理の実際やストレスチェック制度、行政面では保健所実務の実際、感染症対策など多岐にわたる項目の実践面について扱ってきました。衛生学・公衆衛生学講義で学んだ分も含めて、関連分野の学習を今後も続けて下さい。

科目名：法医学実習・演習

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：114 配付数：114 回収数：98 回収率：86.0%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 3.4 | 4.0 | 3.7 | 3.9 | 3.7 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.7 | 3.9 | 3.8 | 3.7 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 3.8 | 3.9 | 3.9 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

法医学実習・演習担当教員

医学部教育における法医学の到達目標は、異状死体の検屍（検案）と、実践に即した医師法の適切な理解である。今年度も昨年同様、学習支援システム（manaba）にて骨実習を行った。昨今の状況下において、概ねスケジュール通り実施することが出来た。臨床現場で実際に法医学的思考が必要となった時に、的確な問題解決能力を発揮して頂きたい。

科目名：基礎看護技術学 I（共通技術）

（看学科第 1 学年前期／必修）

履修者数：60 配付数：56 回収数：53 回収率：94.6%

*評価結果（平均）

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5 | 問 6 | 問 7 | 問 8 | 問 9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.5 | 4.8 | 4.4 | 4.6 | 4.7 | 4.7 | 4.7 | 4.6 | 4.6 | 4.6 | 3.9 | 4.2 | 4.6 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.7 | 4.6 | 4.7 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

基礎看護技術学 I（共通技術）担当教員

評価から学生の皆さんが予習をして積極的に授業に参加したことがわかりました。課されたレポートなどの量や内容は適切かが 3.9 と他より低値でした。講義演習での学びが深まるように予習・復習の学習課題がありますので課題量は多くならざるを得ません。ですが、全体としては満足できるが 4.7 であったことから充分学べたのではと推測します。

科目名：基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）

（看学科第2学年前期／必修）

履修者数：59 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果（平均）

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.3 | 4.7 | 4.4 | 4.5 | 4.4 | 4.6 | 4.5 | 4.5 | 4.2 | 4.3 | 3.6 | 4.3 | 4.3 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.5 | 4.4 | 4.3 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）担当教員

皆さんは講義・演習に積極的に取り組んでいました。技術を十分に習得（4.2）、演習の満足度（4.6）の結果から、演習企画は良好であったと評価しています。自由記載では小テスト、技術トレーニングについて「役立った」という意見がありました。次年度も根拠に基づいた看護技術の習得につながるように演習企画をブラッシュアップしていきます。

科目名：基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）

（看学科第2学年前期／必修）

履修者数：59 配付数：54 回収数：53 回収率：98.1%

*評価結果（平均）

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.2 | 4.5 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 4.3 | 4.3 | 4.2 | 3.9 | 4.0 | 3.5 | 4.2 | 4.2 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.2 | 4.1 | 3.9 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）担当教員

自由記載に前期試験前のレポート提出に関する意見が複数寄せられました。この科目は試験を行いませんので講義が終わった後にレポートを課し成績評価をしています。他の学年の授業等の兼ね合いで夏季休業後の授業の期間が短かったことは申し訳なく思います。次年度はコンスタントに授業が行えるよう関係部門と調整したいと思います。

科目名：地域包括ケア実習

(看護学科第3学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：59 回収数：56 回収率：94.9%

*評価結果 (平均)

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.0 | 4.3 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 4.0 | 4.1 | 4.2 | 4.2 | 4.2 | 4.0 | 4.0 | 4.1 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.2 | 4.1 | 4.1 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

地域包括ケア実習担当教員

令和6年度の地域包括ケア実習は、すべての項目が「4.0」以上と学生の実習への満足度は高いと言える。中でも、問2が全項目の中で一番高かったことから学生はこの実習に主体的かつ積極的に取り組んでいたと評価できる。一方で、学生が企画・実施する健康セミナーに関する不満などを示す意見もみられたため、学生の意見を次年度へ活かしていきたいと考える。

科目名：実践看護技術学 I（成人）

（看学科第 3 学年前期／必修）

履修者数：60 配付数：60 回収数：59 回収率：98.3%

*評価結果（平均）

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問 1 | 問 2 | 問 3 | 問 4 | 問 5 | 問 6 | 問 7 | 問 8 | 問 9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.2 | 4.2 | 4.1 | 4.1 | 4.2 | 4.2 | 4.4 | 4.2 | 4.1 | 4.1 | 3.8 | 4.2 | 4.1 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.3 | 4.2 | 4.2 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

実践看護技術学 I（成人）担当教員

多くの学生が予習をして積極的に演習に参加しており、授業評価は 4.0 以上が多く、ポジティブな感想の記載もみられたことから、演習企画は概ね良好だったと評価しています。事後課題で書きにくい項目がある、同じ実習室内で複数の演習を行ったときに説明が聞こえにくいとの意見がありましたので、次年度に反映させたいと考えます。

科目名：実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）

（看学科第3学年前期／必修）

履修者数：60 配付数：60 回収数：45 回収率：75.0%

*評価結果（平均）

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.5 | 4.6 | 4.4 | 4.5 | 4.5 | 4.6 | 4.6 | 4.6 | 4.2 | 4.4 | 4.0 | 4.4 | 4.4 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.5 | 4.6 | 4.5 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）担当教員

実践看護技術学Ⅱは、母性、小児、精神看護学合同の演習科目です。各領域担当教員の演習企画において行いました。演習科目であり、確実に出席し実践を通して学ぶことを重要視します。今年度も真剣に取り組んでいた結果、満足感が得られる演習になりました。昨年度のコメントから、課題の難易度を再検討し実施しました。皆さんが計画的に実施できるよう検討します。

科目名：実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）

（看学科第4学年前期／必修）

履修者数：59 配付数：59 回収数：26 回収率：44.1%

*評価結果（平均）

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 | 問7 | 問8 | 問9 | 問10 | 問11 | 問12 | 問13 |
| 4.0 | 4.3 | 4.0 | 4.6 | 4.3 | 4.5 | 4.4 | 4.2 | 4.1 | 4.2 | 4.2 | 4.4 | 4.3 |
| 問14 | 問15 | 問16 | | | | | | | | | | |
| 4.6 | 4.6 | 4.3 | | | | | | | | | | |

*評価に対するコメント

実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）担当教員

どのグループも授業に自律的かつ真摯に取り組み、技術やその注意事項も練習を通じて着実に習得することができました。技術に関する事前の動画教材の視聴は、繰り返し確認できる利点もあったようです。演習で実践した4つの技術は、実習において即座に活用可能で、過度な負担をかけることなく適切な内容でした。この点は次年度の授業計画にも参考にしたいと考えています。